

## 自立活動 教材教具カード

名称	構文カード
区分・項目	6 コミュニケーション (3) 言語の形成と活用に関すること
<p>課題内容</p> <p>・</p> <p>指導例及び留意点</p>	<div data-bbox="496 479 1056 896" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1066 479 1353 680" data-label="Text"> <p>文章バーにカードを並べて文を作ります。</p> </div> <div data-bbox="1070 685 1353 891" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを並べて文章を作り、自分の気持ちや要求を伝えるために使う。対象児童・生徒の実態に合わせて、並べるカードの枚数を調整をする。</li> <li>・例えば、「～、ください」という二語文であれば、カードを2枚並べる。</li> <li>・属性(赤い、大きいなど)を入れた文を作る練習をすることもできる。</li> <li>・発語のある子どもであれば、カードを並べた後で、文章を読んで伝えるように促す。</li> <li>・PECS のコミュニケーションブックや、たすくの「お話しブック」を参考にして作成している。</li> <li>・ファイル形式ではなく、1枚で作っているので持ち運びが容易。場面ごとに必要なカードを並べていくつか用意しておくとう便利。(例えば、食堂には給食用のカードを並べたものを持っていく)</li> </ul>
材料、購入先 予算価格	ファイル2冊(100円×2)、マジックテープ(100円)ひも、ラミネートシート
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薄いプラスチック製のファイルを切ったものにマジックテープを貼って作る。</li> <li>・上部にひもを付けておくと、掲示したり持ち歩いたりするのに便利。</li> </ul>